

## ●…………… 論文特集原稿募集 ……………●

### ——SoC 設計手法小特集

(英文論文誌 A) 論文募集——

SoC 設計手法小特集編集委員会

一つのチップ上に様々な機能を集積する SoC は、情報通信分野にとどまらず、社会基盤を形成する多くの分野において欠くことのできない構成部品となっています。こうした幅広い応用分野からの要求を満たすべく、SoC の一層の高集積化と異種機能の混載が進められています。同時に、社会基盤等、安全性が特に重視される応用に向けては、製造後の信頼性保証も重要となっています。そこで、今後の SoC とその応用分野の更なる発展を目的に、様々なアーキテクチャの検討、高位から物理レベルまでの回路設計手法、ライブラリ、リソグラフィー等の製造性を考慮した設計手法、更に次世代の SoC において必要となる新技術等、SoC の設計技術を対象分野とする小特集として出版 (平成 26 年 7 月号) します。皆様からの御投稿をお願い申し上げます。特に、回路とシステムワークショップでの発表論文の積極的な御投稿を期待します。

#### 1. 対象分野

設計環境・ツール、組込みシステム、リコンフィギュラブルシステム、マルチコア・メニーコア設計、NoC 設計、システムレベル設計、IP ベース設計、動作合成・高位合成、論理合成・検証、レイアウト設計・検証、アナログ CAD、タイミング解析、テスト設計、低消費電力設計、高信頼性設計、耐雑音設計、DFM、リソグラフィー CAD

#### 2. 論文の執筆と取扱い

通常の英文論文と同一とします。原則として、論文は刷り上がり 8 ページ程度、レターは刷り上がり 2 ページ程度とします。詳細は Information for Authors ([http://www.ieice.org/eng/shiori/mokuji\\_ess.html](http://www.ieice.org/eng/shiori/mokuji_ess.html)) を御参照下さい。著者のうち少なくとも 1 名は本会会員である必要があります。本小特集の投稿にあたっては、次の点にも御注意下さい。

- ・投稿は電子投稿でのみ受け付けます。登録と投稿は [https://review.ieice.org/regist/regist\\_baseinfo\\_e.aspx](https://review.ieice.org/regist/regist_baseinfo_e.aspx) で行えます。なお、登録の際、“Journal/Section” については “[Special-SO] Design Methodologies for System on a Chip” を選択して下さい。間違えて “[Regular-EA]” を選択しないよう御注意願います。また、“Copyright Transfer and Page Charge Agreement (要サイン)” と “Confirmation Sheet of Manuscript Registration” を論文投稿締切日までに下記送付先 (編集幹事) まで郵便、FAX、電子メール等でお送り下さい。必ず電子投稿時に振られた Temporary ID を明記願います。
- ・初期投稿時に、編集可能な論文本体 (Word/TeX)、図、著者の写真、biography も投稿する必要があります。
- ・条件付採録の場合、再提出期間が 7 週間程度と短いことをあらかじめ御了承下さい。
- ・採録論文数が多くなった場合には、一部次号に掲載される可能性があります。
- ・論文採録の場合には、掲載別刷代をお支払い頂きます。

#### 3. 論文投稿締切日 平成 25 年 9 月 12 日 (木) 必着

(電子投稿, copyright transfer, confirmation sheet 全て)

#### 4. 書類送付先及び問合せ先

高島康裕 北九州市立大学国際環境工学部情報メディア工学科  
〒808-0135 北九州市若松区ひびきの 1-1  
TEL [093] 695-3729, FAX [093] 695-3779  
E-mail: takasima@kitakyu-u.ac.jp

#### 5. 小特集編集委員会

ゲストエディタ 小林和淑 (京都工繊大)

幹事 竹中 崇 (NEC), 佐藤高史 (京大), 高島康裕 (北九州市大)

委員 石原 亨 (京大), 和泉慎太郎 (神戸大), 大石亮介 (富士通研), 岡田健一 (東工大), 金本俊幾 (ルネサス), 金子峰雄 (北陸先端大), 木村晋二 (早大), 黒川 敦 (弘前大), 小平行秀 (会津大), 柴田裕一郎 (長崎大), 澁谷利行 (富士通研), 瀬戸謙修 (東京都市大), 宋 天 (徳島大), 高木一義 (京大), 高橋篤司 (東工大), 谷口一徹 (立命館大), 筒井 弘 (京大), 戸川 望 (早大), 富山宏之 (立命館大), 中武繁寿 (北九州市大), 中村祐一 (NEC), 永山 忍 (広島市大), 廣瀬哲也 (神戸大), 細川晃平 (NEC), 松本剛史 (東大), 室山真徳 (東北大), 山下 茂 (立命館大), 山田晃久 (シャープ), 弓仲康史 (群馬大), 吉川雅弥 (名城大), 渡邊貴之 (静岡県立大)

### ——離散数学とその応用小特集

(英文論文誌 A) 論文募集——

離散数学とその応用小特集編集委員会

英文論文誌 IEICE Transactions on Fundamentals of Electronics, Communications and Computer Sciences では、離散数学とその応用小特集 (Special Section on Discrete Mathematics and Its Applications) を 2014 年 6 月号に掲載します。この小特集の目的は、今後ますます重要性を高めつつある離散数学とその電子情報工学分野への応用に関連する最新の研究成果を集積することにより、同分野の発展に貢献することです。下記対象分野に関するオリジナルの論文を募集しますので、奮って御投稿下さい。

#### 1. 対象分野

次に挙げる分野及びそれに関連する分野:

- ・アルゴリズム, データ構造, 計算の複雑さ
- ・グラフ, ネットワーク, マトロイド
- ・組合せ最適化
- ・並列アルゴリズム, 分散アルゴリズム
- ・離散幾何, 計算幾何, 計算代数
- ・符号理論, 暗号の基礎数論
- ・確率アルゴリズム, 数論アルゴリズム
- ・線形計画, 数値計画
- ・計算生物学, 生物情報学
- ・ペトリネット, 並行システム
- ・離散数学の応用
- ・アルゴリズム工学
- ・量子計算, 量子アルゴリズム, 量子暗号

#### 2. 論文の執筆と取扱い

原則として、PAPER は刷り上がり 8 ページ以内、LETTER は 2 ページ以内とします。論文スタイルなどの詳細については、Information for Authors ([http://www.ieice.org/eng/shiori/mokuji\\_ess.html](http://www.ieice.org/eng/shiori/mokuji_ess.html)) を御参照下さい。査読後の再提出期間 (通常は

60日)を短縮する場合があります。採録論文数が多い場合には、一般論文として掲載される場合があります。投稿に際しては、著者のうち少なくとも1名は本会会員でなくてはなりません。採録された場合、掲載別刷代をお支払い頂くことになりますので、あらかじめ御了承下さい。

### 3. 論文投稿要領

電子投稿のみ受け付けます。以下の手順で御投稿下さい。

手順1: オンライン投稿システム [https://review.ieice.org/regist/regist\\_bqseinfo\\_e.aspx](https://review.ieice.org/regist/regist_bqseinfo_e.aspx) により、2013年9月20日(金)までに御登録・御投稿下さい。その際、“Journal/Section”の項目で、“[Special-DM] Discrete Mathematics and Its Applications”を選択して下さい。“[Regular-EA] Fundamentals”や他の特集を選択しないように御注意下さい。初期投稿時に、編集可能な論文本体(TeX/Word)、図、著者の写真、biographyも投稿する必要があります。

手順2: “Copyright Transfer and Page Charge Agreement”と“Confirmation Sheet of Manuscript Registration”に必要な事項を御記入の上、2013年9月24日(火)までに、下記宛てに電子メール、FAX、郵送のいずれかの手段でお送り下さい。これらの書類がないと査読が開始されませんので御注意下さい。

送付先:

天野一幸  
〒376-8515 桐生市天神町1-5-1  
群馬大学大学院理工学府電子情報工学領域  
TEL [0277] 30-1823, FAX [0277] 30-1801  
E-mail: amano@gunma-u.ac.jp

### 4. 小特集編集委員会

委員長/ゲストエディタ 天野一幸(群馬大)  
幹事 古賀久志(電通大), 定兼邦彦(NII)  
編集委員 内澤啓(山形大), 宇野毅明(NII), 大館陽太(北陸先端大), 岡本吉央(電通大), 河内亮周(東工大), 河村彰星(東大), 来嶋秀治(九大), 小柴健史(埼玉大), 塩浦昭義(東北大), 渋谷哲朗(東大), 田中圭介(東工大), 玉置卓(京大), 垂井淳(電通大), 藤澤克樹(中大), 中野眞一(群馬大), 牧野和久(京大), 満保雅浩(金沢大), 水木敬明(東北大), 巳波弘佳(関西学院大)

## ——若手研究者のための未来開拓特集

(和文論文誌B) 論文募集——

### 若手研究者のための未来開拓特集編集委員会

ますます厳しくなる通信分野の国際競争において勝ち残っていくためには、若手研究者が力をつけ、活躍してくれることが望まれます。このためには、学位取得や職場でのスキルアップを目指す若手研究者を支援していくことが求められます。和文論文誌Bでは、一昨年から若手研究者に論文執筆の契機を与えることを狙いとして、若手研究者のための特集を企画してきました。今年も引き続き、和文論文誌B編集委員会の特別企画として、若手研究者による論文の特集号(2014年7月)を発行し、若手研究者に論文発表の場を提供することと致しました。

特集テーマは、技術分野を絞ることなく和文論文誌Bが対象とする技術全般を対象とします。論文の筆頭著者をおおむね40

歳以下の若手研究者・学生に限定することにより、日本における研究開発活動をより活性化させられる人材の育成・拡充の一助となることを目指すものとします。特に、優れた研究成果が得られているものの論文投稿の経験がない方、あるいは少ない方々には、是非、この機会を利用し論文発表されることを期待致します。多くの御投稿をお待ちしております。

### 1. 対象分野

(和文論文誌Bが対象とする全技術分野)

【技術領域: 基盤】 基礎理論, 電子通信エネルギー, 伝送方式・機器

【技術領域: 光】 光ファイバ, 光ファイバ伝送

【技術領域: ネットワーク】 ネットワークシステム, ネットワーク, インターネット, ネットワーク管理・オペレーション

【技術領域: 無線】 アンテナ・伝搬, 電磁環境・EMC, 無線通信技術, 地上無線通信, 放送技術, 衛星通信

【技術領域: 無線システム】 計測, 探査, 航行・誘導・制御方式, 宇宙利用システム

【技術領域: マルチメディアシステム】 マルチメディアシステム

### 2. 論文の執筆と取扱い

通常的一般論文と同一とし、論文は原則として刷り上がり8ページ以内とします。詳細は投稿のしおり [http://www.ieice.org/jpn/shiori/cs\\_mokuji.html](http://www.ieice.org/jpn/shiori/cs_mokuji.html) を御参照下さい。査読後の再提出期間が短縮される場合があることをあらかじめ御了承下さい。

### 3. 主なスケジュール

投稿締切日: 2013年10月29日(火) 厳守

初回判定通知予定: 2013年12月下旬頃

最終判定通知予定: 2014年3月下旬頃

発行月: 2014年7月号

### 4. 投稿方法

(A) 郵送

[https://review.ieice.org/regist/regist\\_baseinfo\\_j.aspx](https://review.ieice.org/regist/regist_baseinfo_j.aspx) にアクセスし、投稿論文データを登録して下さい。投稿者チェックリスト、著作権譲渡書、投稿原稿、編集用データを保存したメディアを投稿締切日までに学会事務局に到着するように郵送して下さい。

(B) 電子投稿

[https://review.ieice.org/regist/regist\\_baseinfo\\_j.aspx](https://review.ieice.org/regist/regist_baseinfo_j.aspx) にアクセスし、投稿原稿のPDFファイルと編集用データを登録して下さい。登録後に作成される投稿者チェックリスト・著作権譲渡書を投稿締切日までに学会事務局に到着するように送付して下さい。

【注意】 登録時点で原稿のアップロードが困難な場合、「郵送による投稿」を選択し、一旦登録を完了させて下さい。連絡先メールアドレスにメール(Notification registration completion)が送信されますので、メール内に記載のURLから「仮登録情報の修正/削除、電子投稿(原稿のアップロード)画面」にアクセスして下さい。表示される画面から原稿のアップロードができますので、必ず投稿締切日までに原稿をアップロードして下さい。

送付先:

一般社団法人 電子情報通信学会 編集出版部論文課  
〒105-0011 港区芝公園3-5-8 機械振興会館

### 5. 特集編集委員会

委員長 佐波孝彦(千葉工大)

幹事 山崎憲一(芝浦工大)

委員 通信ソサイエティ和文論文誌編集委員

## 6. 問合せ先

山崎憲一（芝浦工大）

TEL [03] 6722-2761 E-mail : yamaken@shibaura-it.ac.jp

## ——無線技術の根幹を支えるアンテナ・ 伝搬技術論文特集（和文論文誌 B）論文募集——

### 無線技術の根幹を支える アンテナ・伝搬技術論文特集編集委員会

MIMO 対応のスマートフォンや無線 LAN などの高速データ無線通信システムや、高画質テレビやラジオのデジタル放送、鉄道の乗車券やコンビニなどでの支払いに使用する電子マネーに代表される RFID など、無線技術が我々の社会生活に利用されている例は枚挙にいとまがありません。更に最近では、無線による機器への充電を可能とする電力伝送や、人体周辺における近距離無線ネットワークである BAN (Body Area Network) などの新しい応用技術についても盛んに検討されています。

これらのシステムを更に技術発展させてより利便性の高い無線システムを実現するため、アンテナ・伝搬関連の技術は無線技術の根幹を支えるものとして極めて重要な役割を担っています。そこで、本特集号（平成 26 年 9 月号）では、アンテナ・伝搬関連分野における最新の研究成果の論文を募集することとしました。特に企業の方、大学関係の方など、多くの皆様からの積極的な御投稿をお待ちしています。

#### 1. 対象分野

アンテナ設計・解析・測定技術、広帯域アンテナ等各種

アンテナシステム、電磁界解析技術、伝搬チャネルの理論解析・モデル化・実験、アダプティブアレイ・MIMO などアンテナ・伝搬を活用した通信システム技術、電力伝送用アンテナ・伝搬技術、アンテナ・伝搬シミュレーション技術、その他、これらの融合技術を含むアンテナ・伝搬の関連分野

#### 2. 論文の執筆と取扱い

通常的一般論文と同一とし、論文は原則として刷り上がり 8 ページ以内とします。詳細は和文論文誌投稿のしおり [http://www.ieice.org/jpn/shiori/cs\\_mokuji.html](http://www.ieice.org/jpn/shiori/cs_mokuji.html) を御参照下さい。

査読後の再提出期間が短縮される場合があることをあらかじめ御了承下さい。

#### 3. 主なスケジュール

投稿締切日：平成 26 年 1 月 6 日（月）厳守

最終判定予定：平成 26 年 5 月中旬

発行月：平成 26 年 9 月号

#### 4. 投稿方法

[https://review.ieice.org/regist/regist\\_baseinfo\\_j.aspx](https://review.ieice.org/regist/regist_baseinfo_j.aspx) にアクセスし、投稿論文データを登録して下さい。投稿者チェックリスト、著作権譲渡書、投稿原稿、編集用データを保存したメディアを投稿締切日までに学会事務局に到着するように郵送して下さい。

##### (A) 郵送

[https://review.ieice.org/regist/regist\\_baseinfo\\_j.aspx](https://review.ieice.org/regist/regist_baseinfo_j.aspx) にアクセスし、投稿論文データを登録して下さい。投稿者チェックリスト、著作権譲渡書、投稿原稿、編集用データを保存したメディアを投稿締切日までに学会事務局に到着するように郵送して下さい。

##### (B) 電子投稿

[https://review.ieice.org/regist/regist\\_baseinfo\\_j.aspx](https://review.ieice.org/regist/regist_baseinfo_j.aspx) にアク

セスし、投稿原稿の PDF ファイルと編集用データを登録して下さい。登録後に作成される投稿者チェックリスト・著作権譲渡書を投稿締切日までに学会事務局に到着するように送付して下さい。

**【注意】** 登録時点で原稿のアップロードが困難な場合、「郵送による投稿」を選択し、一旦登録を完了させて下さい。連絡先メールアドレスにメール (Notification registration completion) が送信されますので、メール内に記載の URL から「仮登録情報の修正/削除、電子投稿 (原稿のアップロード) 画面」にアクセスして下さい。表示される画面から原稿のアップロードができますので、必ず投稿締切日までに原稿をアップロードして下さい。

送付先：

一般社団法人 電子情報通信学会 編集出版部論文課

〒105-0011 港区芝公園 3-5-8 機械振興会館

FAX [03] 3433-6616 E-mail : wabun-b@ieice.org

※郵送時、封筒に「アンテナ・伝搬技術特集」と朱記して下さい。

#### 5. 特集編集委員会

委員長 岩井誠人（同志社大）

幹事 笹森崇行（秋田県立大）、中野雅之（KDDI 研）

委員 有馬卓司（東京農工大）、岩井 浩（パナソニック）、北尾光司郎（NTT ドコモ）、木村雄一（埼玉大）、榊原久二男（名工大）、庄木裕樹（東芝）、野口啓介（金沢工大）、深沢 徹（三菱電機）、堀 智（小島プレス）、道下尚文（防衛大）

#### 6. 問合せ先

中野雅之（株）KDDI 研究所

〒356-8502 ふじみ野市大原 2-1-15

KDDI 研究所無線プラットフォーム G

TEL [049] 278-7562, FAX [049] 278-7343

E-mail : m-nakano@kddilabs.jp

## ——エレクトロニクス分野における シミュレーション技術とその応用の 進展小特集（英文論文誌 C）論文募集——

### エレクトロニクス分野におけるシミュレーション技術 とその応用の進展小特集編集委員会

計算機を利用したシミュレーション技術は、システムや装置、部品の設計技術の一部として極めて重要な役割を果たし、また様々なリスクや安全性の予測にも力を発揮しています。本会においてもマイクロ波、光、電子デバイスなどのシミュレーション技術は共通的な基盤技術として位置付けることができ、独創的なアイデアを定量的に検証し付加価値の高い研究成果へと結実させる道具としても必要不可欠です。一方で、シミュレーションの対象の複合化や規模の拡大、精度や効率の向上は年々進歩を遂げつつあります。そこで今回、「シミュレーション」というエレクトロニクス分野の共通的なテーマに関する最先端の研究成果を集め、最近の進展状況を俯瞰できるような特集として、「エレクトロニクス分野におけるシミュレーション技術とその応用の進展」小特集 “Special Section on Recent Advances in Simulation Techniques and Their Applications for Electronics”（平成 26 年 7 月号）の発行を企画しました。皆様からの積極的な御投稿をお願い致します。

#### 1. 対象分野

エレクトロニクス分野におけるシミュレーション技術に関する

論文を広く募集します。主な分野は以下のとおりですが、これに限定するものではありません。

電子工学一般に関するシミュレーション技術・技法（電磁波、回路、半導体、システムなど）／シミュレーション高速化技術／シミュレーションの高精度化技術／複合シミュレーション技術／モデル化・最適化手法／既存シミュレータの比較検証（規範問題の提示など）／シミュレータ向け共通プラットフォーム技術／技術教育用電磁界解析シミュレータの構築／その他

## 2. 論文の執筆と取扱い

本小特集では PAPER と BRIEF PAPER を募集します。掲載ページ数は刷り上がり PAPER：8 ページ、BRIEF PAPER：4 ページ以内を原則とします。論文の形式等の執筆の詳細は Information for Authors ([http://www.ieice.org/eng/shiori/mokuji\\_es.html](http://www.ieice.org/eng/shiori/mokuji_es.html)) を御参照下さい。なお、論文誌の査読後の再提出期間（通常は 60 日）を短縮する場合があります。

## 3. 投稿方法

Web による電子投稿のみ受け付けます。以下の手順で御投稿下さい。

手順 1：論文の仮登録を Web ページ ([https://review.ieice.org/regist/regist\\_baseinfo\\_e.aspx](https://review.ieice.org/regist/regist_baseinfo_e.aspx)) で行い、論文（図、表を含む）の電子ファイルをアップロードして下さい。なお、登録にあたり、“Journal/Section” は、“[Special-ES] Recent Advances in Simulation Techniques and Their Applications for Electronics” を選択して下さい。

手順 2：論文登録時に生成される著作権譲渡承諾書（Copyright Transfer and Page Charge Agreement）と仮登録確認用紙（Confirmation Sheet of Manuscript Registration）を下記まで電子メール添付、FAX、または郵送のいずれかの方法で送付して下さい。これらの書類が期日までに届かない場合、投稿が取り下げになることがあります。

## 4. 論文投稿締切 平成 25 年 9 月 27 日（金）必着

### 5. 投稿書類送付先及び問合せ先

大貫進一郎 日本大学理工学部電気工学科  
〒101-8308 千代田区神田駿河台 1-8-14  
TEL [03] 3259-0783, FAX [03] 3259-0762  
E-mail: ohnuki.shinichiro@nihon-u.ac.jp

### 6. 小特集編集委員会

編集委員長 柴田随道（NTT）  
編集幹事 大貫進一郎（日大）  
編集委員 池田奈美子（NTT）、齊藤晋聖（北大）、柴山 純（法政大）、陳 春平（神奈川大）、辻 寧英（室蘭工大）、藤田和広（富士通）、馬 哲旺（埼玉大）、Tuptim Angkaw (Chulalongkorn Univ.)、Yih-Peng Chiou (National Taiwan Univ.)、Eng Leong Tan (Nanyang Technological Univ.)

**【重要なお知らせ】** 投稿に際しては、著者のうち少なくとも 1 名は本会会員でなければなりません。ただし招待論文に関してはこの限りではありません。必要な投稿資格を満たしていない著者からの投稿論文については、投稿を受け付けられないこととなりますので御注意下さい。入会の案内はこちらを御覧下さい。 <http://www.ieice.org/jpn/nyukai/index.html>

## ——インターネット技術とその応用特集

### (和文論文誌 D) 論文募集——

#### インターネット技術とその応用特集編集委員会

インターネットは、様々なサービスや活動の基盤として、社会を大きく変化させる原動力としてこれまで力強く発展してきました。更には、大規模災害等において重要なライフラインの役割も果たすなど、なくてはならない社会基盤としての地位を確立しています。その一方で、スマートフォンに代表されるコンピュータの小形化、高性能化に伴い、マルウェアや標的型攻撃による情報漏えいにより社会基盤としての安全性についての課題がクローズアップされています。社会基盤であるインターネットを豊かな社会生活や新しい産業の創出のために活用することを可能にする取組みも重要な課題となっています。インターネットを持続的に発展させ、これら社会的課題に応えることを目的として、インターネット技術とその応用に関連する最新のアイデアや取組み／成果を集め、広く共有して議論すべくインターネット技術とその応用特集（平成 26 年 6 月号）を企画致しました。皆様からの積極的な御投稿をお願い致します。

### 1. 対象分野

以下のようなテーマを含め、これらに限らず広くインターネット技術とその応用に関連する分野の論文を積極的に御投稿頂きたく、期待しております。

- ・インターネットの計測・分析・評価と管理
- ・ネットワーク構築・運用・管理手法
- ・ネットワークアーキテクチャ・プロトコルと制御
- ・モバイル／ユビキタス／アドホックネットワーク技術
- ・オーバレイネットワーク技術とアプリケーション
- ・ネットワークエージェント技術
- ・コラボレーション技術、グループウェア、テレプレゼンス
- ・分散・グリッド・クラウドコンピューティング技術、仮想化技術
- ・リッチクライアント、マッシュアップ技術
- ・デジタルコンテンツ流通基盤としてのインターネット関連技術
- ・マルチメディア通信技術、QoS 管理技術
- ・インターネットにおけるセキュリティ対策技術と運用
- ・認証基盤技術とその応用
- ・インターネットを活用した環境保護
- ・教育、医療、福祉、災害対策、地球環境保全などの社会的活動に関わるインターネット活用手法
- ・流通／経済インフラとしてのインターネット活用手法
- ・インターネットの応用と情報倫理
- ・その他インターネット技術とその応用に関連する分野

### 2. 論文の執筆と取扱い

・論文（通常の一般論文）及びサーベイ論文を募集致します。それぞれのページ数など詳細な規定に関しては「和文論文誌投稿のしおり [http://www.ieice.org/jpn/shiori/iss\\_mokuji.html](http://www.ieice.org/jpn/shiori/iss_mokuji.html)」を御参照下さい。特にサーベイ論文に関しては、積極的な御投稿をお待ちしております。

・査読後の再提出期間が短縮される場合があることをあらかじめ御了承下さい。

### 3. 投稿方法

下記 URL から登録を行って下さい。本特集では電子投稿のみ受け付けます。投稿原稿の PDF ファイルと編集用電子ファイル

を登録して下さい。仮登録後に作成される投稿者チェックリスト・著作権譲渡書を投稿締切日までに学会事務局に到着するように送付して下さい。

[https://review.ieice.org/regist/regist\\_baseinfo\\_j.aspx](https://review.ieice.org/regist/regist_baseinfo_j.aspx)

#### 【送付先】

〒105-0011 港区芝公園 3-5-8 機械振興会館  
一般社団法人電子情報通信学会編集出版部論文課  
FAX [03] 3433-6616, E-mail: wabun-d1@ieice.org

4. 投稿締切日 平成 25 年 9 月 2 日 (月) 厳守

#### 5. 問合せ先

樋地正浩 東北大学  
TEL [022] 217-6273, E-mail: hiji@econ.tohoku.ac.jp

#### 6. 特集編集委員会

委員長 中村 豊 (九工大)  
幹事 吉田健一 (筑波大), 樋地正浩 (東北大)  
委員 池部 実 (大分大), 市川晃平 (奈良先端大), 臼井健 (KDDI 研), 衛藤将史 (NICT), 高倉弘喜 (名大), 伊達 進 (阪大), 友石正彦 (東工大), 野林大起 (九工大), 松浦知史 (奈良先端大), 宮地利幸 (NICT)

### ——「画像の認識・理解」特集

(和文論文誌 D) 論文募集——

画像の認識・理解特集編集委員会

「画像の認識・理解シンポジウム」は、情報・システムソサイエティパターン認識・メディア理解研究専門委員会と情報処理学会 CVIM 研究会が主催・共催している、当該分野の中心的な国内シンポジウムです。この「画像の認識・理解」特集の目的は、同シンポジウムで発表された優秀な研究成果を広く会員に伝えるとともに、画像認識・理解分野の将来を展望することにあります。

本特集 (平成 26 年 8 月号) は、投稿論文を MIRU2013 発表論文に限定しません。画像の認識・理解に関する和文の論文を広く募集致しますので、奮って御投稿下さい。なお、MIRU2013 に採択された研究発表のうち、特に優れた 7 件程度を選出し、通常の査読プロセスを経て採録に至った論文を「MIRU2013 推薦論文」として掲載します。

【注意】 情報処理学会 CVA Express として掲載された論文は学術雑誌論文になりますので、同一の内容をそのまま本特集に投稿することはできません (二重投稿の疑義がかかります)。発展させた内容を投稿した場合、CVA Express として掲載された論文からの差分のみで論文を評価することになります。

#### 1. 対象分野

A. 幾何学的解析, 光学的解析, トラッキングとオプティカルフロー

A1: カメラ・幾何学的キャリブレーション A2: 多視点幾何 A3: Structure from motion/SLAM A4: ステレオ (二眼・多眼) A5: 照度差ステレオ A6: レンジファインダ (能動的手法) A7: 自由視点画像生成 A8: 三次元形状処理 A9: マッチング A10: 不変特徴量 A11: 統計的方法 A12: 最適化手法 A13: 照明・反射の解析 A14: 色彩解析 A15: レンダリング A16: 撮影原理・装置 A17: 対応点探索・特徴点追跡 A18: 移動体の追跡 A19: オプティカルフロー

#### B. パターン認識, 文書処理

B1: 特徴抽出 B2: 特徴選択 B3: 固有空間法 B4: カーネル法 B5: 識別理論 B6: 統計的学習 B7: 教師なし学習 B8: クラスタリング B9: 最近傍探索 B10: 事例ベース処理 B11: モンテカルロ法 B12: 時系列解析 B13: 物体検出 B14: 物体認識 B15: マルチモーダル処理・認識 B16: タグ・テキスト情報・位置情報 B17: Web マイニング B18: 文字認識 B19: 文書解析・文書理解

#### C. メディア処理, 映像処理

C1: 実世界適用・実時間処理 C2: 大規模画像・映像データ C3: 発話解析・マルチモーダル C4: インタラクション解析・アノテーション C5: 画像・映像検索 C6: 超解像画像生成 C7: 画像復元・修復 C8: 画質改善 C9: イメージモザイク C10: 画像領域分割 C11: 特徴量 (SIFT, HOG 等) C12: 対象領域抽出 C13: 変化・異常検出 C14: モルフォロジー

#### D. VR, HCI, ロボットビジョン, メディカル応用

D1: 拡張現実感・複合現実感 D2: テレプレゼンス・テレイグジスタンス D3: 立体視・立体表示・三次元 UI D4: HCI, CSCW D5: マルチモーダルインタフェース D6: ウェアラブル・ユビキタスコンピューティング D7: 視聴覚融合・視触覚融合 D8: サーベイランス・侵入検知・異常検知 D9: ヒューマン計測・認証 D10: インタラクティブビジョン D11: カメラ・ディスプレイシステム D12: ロボットビジョン・ナビゲーション D13: ITS D14: 医用画像解析

#### 2. 論文の執筆と取扱い

・論文の執筆要領は、通常の投稿論文と同一です。「投稿のしおり」は下記の URL で閲覧できます。

[http://www.ieice.org/jpn/shiori/iss\\_mokuji.html](http://www.ieice.org/jpn/shiori/iss_mokuji.html)

・下記 URL から登録を行って下さい。本特集では電子投稿のみ受け付けます。仮登録の際に作成される投稿者チェックリスト並びに Copyright Transfer and Page Charge Agreement は、論文投稿締切日である平成 25 年 10 月 10 日 (木) までに学会事務局に到着するように送付して下さい。

[https://review.ieice.org/regist/regist\\_baseinfo\\_j.aspx](https://review.ieice.org/regist/regist_baseinfo_j.aspx)

・論文採録の場合には掲載別刷代が必要となりますが、あらかじめ御了承下さい。

#### 送付先

一般社団法人電子情報通信学会編集出版部論文課  
〒105-0011 港区芝公園 3-5-8 機械振興会館  
FAX [03] 3433-6616, E-mail: wabun-d1@ieice.org

3. 論文投稿締切日 平成 25 年 10 月 10 日 (木) 厳守

4. 特集発行 平成 26 年 8 月

#### 5. 問合せ先

特集編集委員長  
池内克史 東京大学生産技術研究所  
TEL [03] 5452-6242, FAX [03] 5452-6244  
E-mail: ki@cvtl.iis.u-tokyo.ac.jp 及び cvtl-staff@cvtl.iis.u-tokyo.ac.jp

#### 6. 特集編集委員会

編集委員長 池内克史 (東大)  
編集副委員長 黄瀬浩一 (阪府大)  
編集幹事 岡田隆三 (東芝), 阪野貴彦 (産総研), 堀田政二 (東京農工大)

編集委員 安倍 満 (デンソー IT), 石川 博 (早大), 井出一郎 (名大), 今岡 仁 (NEC), 大町真一郎 (東北大), 岡谷貴之 (東北大), 久野義徳 (埼玉大), 近藤一晃 (京大), 斎藤英雄 (慶大), 佐藤智和 (奈良先端大), 塩原守人 (富士通), 篠田浩一 (東工大), 長原 一 (九大), 馬場口 登 (阪大), 原田達也 (東大), 本谷秀堅 (名工大), 前田英作 (NTT), 増田 健 (産総研), 森 健策 (名大), 柳井啓司 (電通大)

## ——サイバーワールド小特集

### (英文論文誌 D) 論文募集——

#### サイバーワールド小特集編集委員会

サイバーワールド (Cyberworlds) とは、ネットワーク接続された複数のコンピュータ上に、参加者の有無や二次元/三次元的に視覚化されるかどうかにかかわらず、意図的あるいは自然発生的に構築される情報世界若しくはコミュニティのことです。そのような実例として、異種のソーシャルネットワークサービスや、三次元の共有仮想環境、多人数が参加するオンラインゲーム上に創られるコミュニティが挙げられます。サイバーワールドは、実世界とも深い関連を持ち、実際の生活を強化するだけでなく、時には代替ともなり、現実のエコノミーの重要な構成要素になり得えます。本小特集 (平成 26 年 8 月号) の目的は、このようなサイバーワールドを実現するための最先端研究を採り上げ、関連する技術の更なる進展を加速させることにあります。

#### 1. 対象分野

- ・ネットワーク化された共有仮想世界
- ・仮想協調空間
- ・サイバーワールドのための形状モデリング
- ・バーチャルヒューマンとアバター
- ・マルチモーダルな対話と表示
- ・拡張現実/複合現実のためのコンピュータビジョン
- ・認知情報学
- ・ブレイン・コンピュータインタフェース
- ・情動コンピューティング
- ・ソーシャルコンピューティング
- ・オンラインコミュニティ
- ・サイバーワールドにおける E-ラーニング
- ・多人数 Web ゲーム
- ・サイバースペースにおける芸術と文化, サイバー博物館
- ・サイバースペースの倫理と法律
- ・サイバーセキュリティ
- ・サイバースペースと福祉
- ・サイバースペースにおけるデータマイニングとウェアハウス
- ・サイバースペースにおけるビジュアルアナリティクス

#### 2. 論文の執筆と取扱い

通常の英文論文と同一とします。ページ数は、原則として、論文の場合は刷り上がり 8 ページ、レターの場合は刷り上がり 2 ページを標準とします。初期投稿時のレターの最大ページ数は 4 ページです。標準ページ数を超えると、掲載別刷代が急に高くなりますので御注意下さい。詳細は Information for Authors ([http://www.ieice.org/eng/shiori/mokuji\\_iss.html](http://www.ieice.org/eng/shiori/mokuji_iss.html)) を御参照下さい。査読後の再提出期間 (通常は 60 日) を短縮する場合があります。

#### 3. 投稿方法

Web による電子投稿のみ受け付けます。以下の手順で御投稿下さい。

手順 1: [https://review.ieice.org/regist/regist\\_baseinfo\\_e.aspx](https://review.ieice.org/regist/regist_baseinfo_e.aspx) から登録を行って下さい。初期投稿時に、編集可能な論文本体 (TeX/Word), 図, 著者の写真, biography も投稿する必要があります。なお登録時には必ず "Journal/Section" で [Special-CY] Special Section on Cyberworlds を選択して下さい。[Regular-ED] を決して選択しないで下さい。

手順 2: 登録時に生成される "Copyright Transfer and Page Charge Agreement" と "Confirmation Sheet of Manuscript Registration" を、論文投稿締切日までに下記送付先へ電子メール添付, FAX, 郵送のいずれかの方法でお送り下さい。これらの書類が期日までに届かない場合、投稿が取下げになることがあります。

#### 4. 論文投稿締切日 平成 25 年 11 月 8 日 (金) 必着

#### 5. 投稿書類送付先及び問合せ先

茅 暁陽 山梨大学コンピュータ理工学科  
〒400-8511 甲府市武田 4-3-11  
TEL & FAX (055) 220-8652  
E-mail: [mao@yamanashi.ac.jp](mailto:mao@yamanashi.ac.jp)

#### 6. 小特集編集委員会

委員長 茅 暁陽 (山梨大)  
幹事 藤代一成 (慶大), 内藤 整 (KDDI 研)  
委員 羽鳥好律 (東工大), 原崎秀信 (NEC), 宮崎慎也 (中京大), Alexei Sourin (Nanyang Technological University, Singapore), Lichan Hong (Google Research, USA), Hongbin Zha (北京大, 中国), Xiaogang Jin (浙江大, 中国), 中嶋正之 (Gotland University, Sweden), 宮田一乗 (北陸先端大), 伊藤貴之 (お茶の水女子大), 稲見昌彦 (慶大), 杉本麻樹 (慶大), 郷 健太郎 (山梨大), 豊浦正広 (山梨大), 細部博史 (法政大)

#### 7. 付記

- \* 締切日を厳守して下さい。
- \* 全ての採録論文については掲載別刷代 (別刷 50 部含む) が必要となります。
- \* 投稿に際しては、著者のうち少なくとも 1 名は本会会員でなければなりません。ただし招待論文に関してはこの限りではありません。必要な投稿資格を満たしていない著者からの投稿論文については、投稿を受け付けないこととなりますので御注意下さい。入会の案内はこちらを御覧下さい。 <http://www.ieice.org/jpn/nyukai/susume.html>